



まちかどサポートセンター 職員エピソード集



入職6年目 “マダム夫人” さん

『相手の気持ちに寄り添う大切さ』

利用者さんが「調子が悪いから出来ない」と言うことに気が付かず説教調になったり指導をしてしまった事がありました。つい正論を言ってしまい「分かっている。やろうと思うが出来ないので辛い。そこを、わかってほしい。」と言われたこともあり、ハッと気づきました。いろいろと思い悩みましたが、今では彼らの思いや考えを受け止めることが大切なのだと言うことに気が付かされました。

最近是指導するのではなく、「相手の気持ちに寄り添いながら話を聞くこと」を心掛けています。

入職6年目 “マダム夫人” さん

『パソコンと向き合って』

グループホームの事務作業でパソコンを使うときに、最初は確認をしているうちにデータがどこかに入り、探せず他の職員さんに電話をして見てもらったり、急にパソコンが動かなくなってパニックになり、また職員さんに電話をして操作方法を教えてもらうなどしました。最近は失敗や迷惑を掛けることも少なくなりました。いろいろな事を学べる所です。



入職 13 年目（正規職員） “陽気なマシュマロマン” さん

『10年経った今でも・・・』

入職当初、私は元々容量よく仕事ができるタイプではありませんでした。

事務仕事も覚えが遅く先輩に迷惑をかけるばかり・・・。

電話で話すのも人前で話すのも緊張の連続。誰かと比較して落ち込む日々でした。運転も大の苦手で利用者さんを乗せての納品は自信がなく、最初は不安でいっぱいでした。

利用者さんの対応でも悩みの背景をうわべでしか汲み取ることができず、他事業所の方と連携を取る際に失礼な対応を結果としてしまいました。

10年以上経験を積んだ今でもそんな失敗の連続です。年数が経った分仕事量や責任も増え、忙しさと余裕のなさを理由に初心を忘れてしまう対応をとった事は多々あり、日々反省です……

まちかどサポートセンター 職員エピソード集2



入職 7年目（正規職員） “お酒たしなみ上手” さん

『正しい価値観とは』

”対人支援”の仕事をしていて、距離の近さと遠さで、もっと良い方法があったと思う利用者さんとの関わりがあります。

利用者さんの感情に自分の感情が寄り添いすぎてしまい、冷静な言葉選びや表現ができず、その時本当に必要な判断ができませんでした。…と言うか喧嘩のようになってしまうと感情的になってしまい、偏った考えしか浮かばなかったんだろうと思います。自分の思う”正しい価値観”をつい押しつけてしまっていたかもしれません。自分の担当だからと思うプライドのようなものが周囲の意見を受入れがたい気持ちを作っていたと思います。

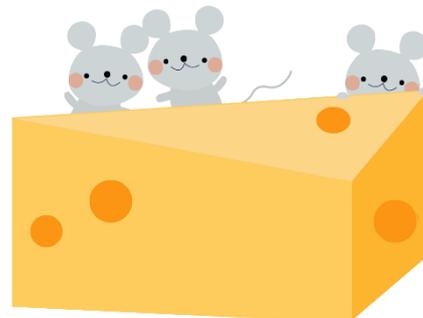
利用者さんが自分に対して警戒している様子を感じたとき、さらに距離をとられたくなくて表面上だけで接してしまっただけでもあります。失敗したっていいから、あと一步の勇気をだして踏み込んでいたら聞けた本音があったかなあとと思います。

入職 3年目（正規職員） “漫画喫茶とコメダ珈琲はオアシス” さん

『受け止め方の違い』

利用者さんとの言葉の行き違いでのミスがあった事がありました。話し手の意向と聞き手の受け止め方の違いが原因でした。今思えば人と人との関わりの中ではよくあることだと思います。この仕事を通じて特に思うことは話を聴いてどう受け止めるかは「自由」だということ。元々自分は物事の捉え方が「固い」面があり、融通性に欠けていたところもありました。

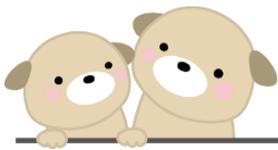
人間関係は化学反応という言葉があります。利用者さんと関わらせて頂く中で「ミスに対して過度に気にならなくなっている」「少し融通性がついてきている」と肌で感じてます。何事も程ほどに気にすることにしていきます（笑）



入職 5 年目（正規職員） “everyday ニコ動ライフ” さん

『任せてもらえることの大切さを励みに』

私がまちかどサポートセンターで働いて良かったと思ったのは、いろいろな仕事に携わらせてもらえる事です。自分としては自信がなくて心配なことも今までたくさんありましたが、やってみたら思っていたよりも出来たり、出来なかったなりに数をこなしたら前回よりも効率が良くなったりと自分の「出来た！」を感じることができました。任せてもらえるのは期待してくれているかもと嬉しいですし、まだ頑張れているのかもと励みにもなっています。



まちかどサポートセンター 職員エピソード集 3

入職 5 年目（正規職員） “エンジェルスマイル” さん

『自分らしく働く』

まちかどサポートセンターでいろいろな方と出会い、色々な価値観を知ることができ、日々勉強させていただいています。そして利用者さんと一緒に関わったり、悩むことで制度や対応について一緒に考えたり学びきっかけを与えてくださったり、良い経験が得られました。私の働いている『かもめくらぶ』では“居場所”という役割があります。みんなで一緒に笑ったりする、ゆるい感じの雰囲気は私にも合っており、自分らしく働いています。利用者さんがだんだん自信がついたり、生き生きとしている姿を見られるのがこの仕事のやりがいに繋がっています。

また、上司にも意見を伝えやすく、プログラム立案など色々チャレンジさせていただけます。もちろん多々悩むこともありますが、そこで一度立ち止まって考えたり、振り返ったりする過程が自身の成長に繋がっていると思っています。ここで得る経験は今後人と関わって行く中で絶対に生きていくと思い日々励んでいます。

入職 3 年目（パート職員） “心の包帯ほどきます” さん

『人が好きと思える職場』

私が入職した当初は周囲の視線が気になり、緊張の連続で思うように身体が動きませんでした。「人が好き」と思える、自分らしく仕事ができる所がこの職場の利点だと思います。



入職6年目（正規職員）“秋になるとサツマイモが主食”さん

『フォローの温かさ』

日常より、大雑把で適当な私。幾度となく物を雑に扱い、知らずも破壊してしまったことも……。プライベートはさらに雑ですが、仕事でも出てしまうときがあります。つい最近では、プログラムの一環で、他事業所のお部屋を借りて習字を行いました。何気なく筆を洗っているとき、白い壁に墨が飛び汚れてしまっていました。それに気づかず筆を洗い続ける私。あげく気づいたのは他のスタッフで、「壁が汚れているよ!!」と言われたときには時すでに遅しでした。心の中で「ああ、またやってしまった、こういうとこだよなあ」と落ち込んでいるなか、汚れに気づいたスタッフが、一緒になって壁を拭いてくださり、汚れを落とすことができました。その間、上司がすぐに事業所の職員に報告・謝罪をしてくださる等、ミスしてもチームのみんなにフォローしていただけることの幸せさを感じました。とはいえ、それに甘えるわけにはいきません。事前に気づきそもそも壁を汚すことがないように対応できればよかったです。大雑把で雑な部分を認め、今後も気を付けていきたいです。

入職6年目（正規職員）“秋になるとサツマイモが主食”さん

『何事も肯定することが入口』

私は元々、自分の意見があっても人に言うのが得意ではありませんでした。「嫌がられたらどうしよう、迷惑だったらどうしよう」という思いがあったと思います。ですがまちかどサポートセンターでは、意見や考えに否定から入る人がいません。伝統ある法人ではありますが、必要な部分は変革も行う柔軟性があると思います。どんな小さなことでも聞いてくださるのでこれまで気づけなかった、意識していなかった部分にも目がとまるようになり、自身の成長を感じています。そのような職場環境のおかげで生き生きと働くことができます。



入職5年目（正規職員）“月曜日の出勤前までは休日”さん

『伴走者になって』

まちかどサポートセンターに入職して5年目を迎えました。転職組みの私にとってはこれまでも業界や業種によって、人やお客様に接するときには色々な考え方や対応があるのだとそれぞれの会社で勉強させて頂くこともたくさんありました。この福祉業界に携わらせて頂くようになり7年が経過しようとする中での転職、さらに精神保健福祉士として初めて雇用されたのが、かもめくらぶです。

メンバーさんの相談をお聞きする中でどうしても解答を急ぐあまりに結論ありきの受け答えをしてしまったこともありました。ただ、周囲のスタッフから見たり聞いたり学んだりする中で、「伴走者として」お話を聞くことの大切さと難しさを教えてもらったのも今のかもめくらぶかもしれません。

さらにはかもめくらぶを利用されているメンバーさんからも教えて頂いたことはたくさんありました。教えて頂いたことはメンバーさんと私、同じ人生の時間を歩む中で、私にとっての金言となって、大切に自分の中にしまっています。

これからも職員、メンバーと共に記録と記憶に残る時間をたくさん共有していきたいと思います。



☆ 特定非営利活動法人まちかどサポートセンターでは、ボランティア募集を
ております。少しでも興味をお持ちの方は、お気軽にご相談ください！

◆ まちかどサポートセンター

人事担当（平野） TEL/ f a x 052-661-0390 ◆

長く現場から離れていた方でも、例え年齢差があっても、楽しく過ごせる場所です。

自分らしく仕事がしたい人、人と関わる仕事が好きな方はお勧めです！